

N o r i のわがまま蒸留記

12月に入り、東京の気温もグッと下がってきました。

紅葉の見頃も過ぎ、イチョウの黄色の葉が落ちたらもうクリスマス&晦日ですね。

さて、前回のレモンユーカリの蒸留から間もなく、社長に「ローズの乾燥花を使って精油をとってみてくれる？」と言われました。「?・・・? バラの精油は無理ですよ」「いいの! 取れない 本当に貴重だという実験で・・・」(フーン わかんない アッ・・・デモ・・・ローズウォーター頂ける! 正
当な手間賃だ 200ml 位? いや 300ml コマリ)



今回蒸留に使用するのは [大神ファーム](#)さん(大分)から購入した乾燥ピンクローズ(イラン産ハーブティー用)。一応、精油が目的なので乾燥の花びらでやります。ザル一杯分出したただけで芳しいバラの香りで一杯です(癒されるなー) 触ると直ぐ折れてしまう薄くて繊細な花びらですだからいつもより丁寧に扱わないと!



そして使用するアランビックのサイズは 5L。

会社のガステーブルで出来る一番大きいサイズ。これだと 2.5Lの水を入れて 1Lの抽出液(精油と芳香蒸留水)が取れる。でも、バラは非常に採油量が少なくて 4トンの花弁から 1kgしか取れない 1Lとっても精油は視認出来るかな? 以前、精油の会社の人から「4.5 畳の部屋と同じ位の箱一杯のバラから 1~2ml の精油しか取れない」と聞いて 呆然としたのを思い出しました、貴重すぎ!!



200cc カップで計量するとカップが 50gなので 1杯=23g 軽いですね~

アランビック 5Lに何杯入るでしょう?



今日の蒸留に使う水。

会社で飲んでるハワイのナチュラルウォーター。

水によって出来る蒸留水にも影響があるとは思いますが、
本当、飲料水の種類は増えましたよね～

ちなみにオアフ島の湧き水からさらにミネラル・マグネシウム・カルシウムを取り除きナトリウムだけを残した水(硬度 1.05) 水の分子が細かい

データを見ても良くわからないけど、癖が無くおいしいので、よい蒸留水になってくれるでしょう



そろり・そろりと詰めてみた

何杯入ったと思います？

…答えは 14 杯 (322g)

ふかし布だと目が粗くてバラの粉が水に落ちてしまうのでガーゼ(1重)でくるみました。

軽く水を通したらもっと入るんですけど、大切な成分が流れそう もったいない そのまま蒸留しよう



点火時刻PM3:00 ジャスト

弱火で 15 分経過

出ましたよ 勢いよく甘い香りが…

精油は？ ビーカーにうっすら油分がついてるんですよ

丁度、油汚れのコップに水を入れた時みたいに周りに付着してる…うわっ、視認も出来ないんじゃないかと心配してたけど「確かにある！」ちょっとHAPPY☆

冷却層の水は開始から 20 分後位からうっすら湯気が出始め、差し水が出遅れた。ちょっと水温高めなので仕切りなおしに一旦、全部流そうとしたら「熱いよ〜。」これは水温が高い場合に行うんで、いきなり木栓抜いたらやけどしちゃうじゃない！！アランビックの取説に足しておかないといけない



下を向けたままは
熱湯が出る可能性もあり危険です



下の画像のように冷却槽より上の位置で栓を抜けば安全。
アランビックをお持ちの方、気をつけてくださいね



上に向けてから流しましょう



抽出中、鮮やかなミントグリーンのかげらの様なものが出てきました。

何？緑青かなー？（※緑青は無害に等しいものです 詳しくは [日本銅センターHP](#)）と思ったけど、一応、メーカーに問い合わせました。

すると、ローズの主要成分であるグラニオールと銅イオンが反応して不溶性の結合物が出るらしい。

それ自体、人体に影響のあるものではないそう

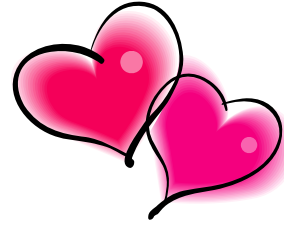
大量のローズウォーターを抽出するヨーロッパでは抽出液にクエン酸を入れて沈殿させるんだよ。気になるならそうしなさいとの返答。

そう、害がないなら別にいいけど食品用クエン酸粉末 100% は市販されてるから今度試してみる事にします。

グラニオールが多く含まれる植物と言えばローズウッドやゼラニウムもそうですね



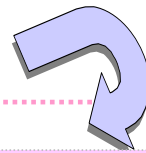
左のように冷却層の水を放置して高温のまままだと水蒸気は液化せずにそのまま湯気として排出口から噴射します。危険です！！
キャー天然の薔薇の香りが充満まるで「豪華なハイブリット加湿器」じゃないか



コホン！ところでこれは皆様にスチーム蒸留のしくみをお伝えするためにしたんです。美顔目的じゃないです。(上機嫌)



そんなこんなで3:00から点火して
3:15 最初の一滴
3:30 200ml
3:45 400mlを抽出。そして4:15には800mlになりました。1分間に13mlの計算ですね
1L抽出しても良いのですが800mlで中止します。
理由はこっち



芳香蒸留水の質は主に3つに分かれます。
ヘッド：初留のもの程芳香成分が多い
ボディ：中間に出てくるものは少し薄れ
テール：になると初期のものより中性に近くなります。

そう、最初から3等分に分けてれば用途に応じて保管出来るのですが、1Lビーカーにドーンと入れてしまったのです。薔薇の採油量は非常に低いという証明も出来たので(私のローズウォーターが1Lもとると薄まっちゃう??)終了です。---終了---



今回は「薔薇の精油」はビーカーの内側にまとわりつく程度の微量。

一般的な精油より数倍の高価なお値段も納得です。

取れた蒸留水は薔薇特有の酸味があった甘く優雅な香りがはっきりと残るものでした。

ちょっと未希釈で飲んでみると、なんだろ 喉を通る瞬間はまるで濃い日本茶やほうじ茶の感覚に近い。驚いたのはその後に口の中に残ってる感全然無かったのに、しばらくしてコーヒーを飲んだ途端に口の中に薔薇がはじけたような感覚がしました。不思議でした～
薔薇の香りって断然、女性が好きな香りですよね、しかもその治療特性も女性特有の症状や精神のケアに優れている・・・肌質を選ばず化粧水になるし、冷却・殺菌・収斂効果も高く頼りになります。外出のお共にスプレーボトルに入れて携帯すれば重宝します。

「自信を取り戻したい」「安心したい」「贅沢で優雅な気分になる」「自己愛を取り戻したい」
上記のような時にはおすすめの香りのようですよ。

ところで、ビーカーの水位は 800ml じゃない 600 強でしょ！って??ん～・・・わかりません
知りません・・・薔薇水は蒸発しやすいのかも・・・